

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	純真学園大学
設置者名	学校法人純真学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
保健医療学部	看護学科	夜・通信	0	0	15	15	13	
	放射線技術科学科	夜・通信			13	13	13	
	検査科学科	夜・通信			15	15	13	
	医療工学科	夜・通信			13	13	13	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページにて公表 http://cpweb.junshin-u.ac.jp/public/web/Syllabus/WebSyllabusKensaku/UI/WSL_SyllabusKensaku.aspx

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	純真学園大学
設置者名	学校法人純真学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページにて公表 http://www.junshin.org/sougou_johokokai/

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	公認会計士	2年間 (R3年4月 1日～R5年 3月31日ま で)	財務面への助言、提 言等
非常勤	他の学校法人理事	2年間 (R3年4月 1日～R5年 3月31日ま で)	学校法人運営全般 の助言、提言等
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	純真学園大学
設置者名	学校法人純真学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>シラバス作成においては、12月ごろに次年度の科目責任者がおおよそ決定するため、シラバス作成マニュアルと共に科目責任者へシラバス作成の依頼を行っている。マニュアルは毎年教務委員会で見直し、必要に応じ改訂を行っている。科目責任者が作成したシラバスは、教務委員会で確認し、内容に問題がないか確認している。シラバスはWebでの公表を行っているため、各責任者に随時確認しながら、4月には学生・一般の方に対し、公表している。</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>http://cpweb.junshin-u.ac.jp/public/web/Syllabus/WebSyllabusKensaku/UI/WSL_SyllabusKensaku.aspx</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学修成果の評価については、Webシラバスにおいて「成績評価及びフィードバックの方法」という項目を設け、成績評価を行う具体的な項目(定期試験・レポート等)と評価選定に占める各項目の割合を数字で明示している。各教員は「成績評価及びフィードバックの方法」に記載した評価方法を元に、最終的な成績評価を実施している。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>GPAは、卒業に必要な単位として算入することのできる授業科目について、A⁺、A = 4.0、A⁻ = 3.7、B⁺ = 3.3、B = 3.0、B⁻ = 2.7、C⁺ = 2.3、C = 2.0、C⁻ = 1.7、D⁺ = 1.3、D = 1.0、F = 0のグレードポイント(GP)を付与し、その科目のGPに各授業科目の単位数を乗じて、その総和を登録科目総単位数で割って算出している。</p> <p>ただし、(1)本学以外で修得した科目、(2)入学前に修得した科目、(3)履修登録期間中に、履修中止申請のあった科目については、GPA算出の対象外としている。</p> <p>GPAを適切に運用するため、教務システムに上記の計算方法を登録し各学生の各学年、半期毎のGPAおよび累計GPAを算出している。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	https://www.junshin-u.ac.jp/about/disclosure/disclosure06.html
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業の認定に関する方針として「純真学園大学 ディプロマポリシー」を定め、本学ホームページにて公表している。</p> <p>卒業認定については、ディプロマポリシーを踏まえ本学で定めている卒業要件を満たすかについて4年次後期に行われる卒業判定会議で確認し、卒業を認めている。卒業要件は学生に対し、学生便覧にて予め明示している。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	https://www.junshin-u.ac.jp/about/disclosure/disclosure01.html

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	純真学園大学
設置者名	学校法人純真学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.junshin.org/sougou_johokokai/
収支計算書又は損益計算書	http://www.junshin.org/sougou_johokokai/
財産目録	http://www.junshin.org/sougou_johokokai/
事業報告書	http://www.junshin.org/sougou_johokokai/
監事による監査報告(書)	http://www.junshin.org/sougou_johokokai/

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: https://www.junshin-u.ac.jp/about/disclosure/

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 保健医療学部
教育研究上の目的 (公表方法： https://www.junshin-u.ac.jp/about/disclosure/disclosure01.html) (概要) 【純真学園大学学則 第 1 条】 純真学園大学は、教育基本法及び学校教育法の本旨に則り、広く知識を授け深く専門の学芸を研究教授するとともに、純真学園建学の精神に基づき、教養豊かにして学識高き人材を養成することを目的とする。 【純真学園大学保健医療学部規則 第 3 条】 本学部は、純真学園大学の建学の精神である「気品」「知性」「奉仕」に基づき、保健医療学に係る教育研究を通して、生命の尊厳を基盤とした豊かな人間性と高い倫理観を育み、保健・医療・福祉の分野において広く貢献できる人材の育成を目的とする。 【純真学園大学保健医療学部規則 第 4 条】 各学科の教育研究上の目的は、次の各号に掲げるとおりとする。 (1) 看護学科は、看護学に関する専門知識・技術・態度の教育研究を行い、高い倫理性に基づいて健康についての問題を包括的に捉え、柔軟に解決する実践能力を持った看護職者の育成を目的とする。 (2) 放射線技術科学科は、放射線技術科学に関する専門知識・技術の教育研究を行い、豊かな教養と高い倫理観を備え、かつ科学的判断能力と問題解決能力を備えた人材の育成を目的とする。 (3) 検査科学科は、検査科学の専門知識・技術の教育研究を行い、豊かな人間性と高い倫理観とともに、科学的根拠に立脚した課題探求能力と実践的な問題解決能力を備えた人材の育成を目的とする。 (4) 医療工学科は、生命維持管理装置を中心とした専門知識、技術の教育研究を行い、確かな知識と技術を備え、生命の尊さ、安全を第一に考え、敏速に行動できる医療従事者の育成を目的とする。
卒業の認定に関する方針 (公表方法： https://www.junshin-u.ac.jp/about/disclosure/disclosure01.html) (概要) 純真学園大学の建学の精神に則り、以下のように、各学科において示された知識・能力・態度を身につけ、かつ所定の単位を修得した者に対して、各国家試験受験資格並びに卒業を認定し、学士の学位を授与する。 <看護学科> ○ 豊かな感性と気品を持ち、柔軟な思考につながる高い教養を身につける ○ 看護の責務を果たすことができる基礎的能力を身につける ○ 医療を取り巻く社会の変化を把握し、人間の生涯におけるあらゆる健康段階の人々への看護実践能力を身につける ○ 保健・医療・福祉チームの一員として他の職種と協働し、看護の専門性を発揮できる能力を身につける ○ 看護の質を向上できるよう、生涯にわたり看護を工夫し研究する態度を身につける ○ 国際社会の一員としての自覚をもち、国内外の看護の課題を理解した行動力を身につける

<放射線技術科学科>

- 幅広い教養と高い倫理観および使命感の修得
- 連携・協働の理解に基づいたチーム医療の理解と実践能力の修得
- 的確な判断能力と問題解決能力の修得
- 診療放射線技師の専門性を身につけ、地域のリーダーおよび社会に貢献できる能力の修得
- 国際的視野を形成できる能力の修得

<検査科学科>

- 幅広い教養と医療人としての高い倫理観および人間性の形成
- チーム医療の理解とその実践能力の修得
- 臨床検査技師の専門性を身につけ、地域のリーダーおよび社会に貢献できる能力の修得
- 的確な根拠に立脚した課題探求・問題解決能力の修得
- 国際的視野を形成できる能力の修得

<医療工学科>

- 幅広い教養と高い倫理観および全人的医療を実践する能力の修得
- 連携・協働の理解に基づいたチーム医療を実践する能力の修得
- 医学と工学に関する知識と技術を融合し臨床工学領域で十分に活用できる能力の修得
- 問題意識と解決に対する積極的な探究心と向上心に溢れ自己研鑽できる能力の修得
- 国際的視野を形成できる能力の修得

教育課程の編成及び実施に関する方針

(公表方法：<https://www.junshin-u.ac.jp/about/disclosure/disclosure01.html>)

(概要)

純真学園大学では、「気品・知性・奉仕」という建学の精神に基づき、これらを具現化するために純真学を配置するとともに、幅広い教養と高い倫理観および使命感を備え、チーム医療や地域・国内外において医療職としての専門性を発揮できる人材育成を目指して、以下のカリキュラムを編成する。

カリキュラムは、保健医療学部の4学科（看護学科・放射線技術科学科・検査科学科・医療工学科）が、お互いの職種を尊重し連携するための素養を修得する科目を柱に、教養教育科目、共通教育科目、および専門教育科目を段階的に編成している。

<看護学科>

- 建学の精神を備えた看護職者として、人間尊重を基盤とした看護実践能力を育成するため、教養教育科目群および純真学科目群を配置する。
- 看護の実践に必要な臨床医学の基礎知識である人体の構造と機能、病態生理、治療について、看護の視点で学ぶ科目を配置する。
- 看護実践能力を段階的に修得するために、概論・援助論・方法論・実習で構成する。概論・援助論で学んだ考え方を基盤とし、方法論では各看護学の特徴的な技術と問題解決能力を身につけ、臨地実習で統合する。
- 看護の探求に必要な研究能力を養う科目を、1年次より段階的に配置する。
- 他職種との相互理解に基づき協働する能力を育成するために、4学科合同横断型カリキュラムを導入し、学年進行に応じて発展的に学ぶチーム医療科目群（IPE：Interprofessional Education）、ならびに「看護学概論」および臨地実習科目を配置する。
- 医療を取り巻く社会の変化を把握し、様々な健康段階の人々に対する看護の専門性を深め、他職種と協働して課題を解決する能力を身につける「統合看護論Ⅰ」「統合看護論Ⅱ」「統合実習」を配置する。
- 国内外における看護活動のために必要とされる実践的な語学力と国際的視野を育成するための科目を配置する。

<放射線技術科学科>

- 人文・自然・社会に関する諸科学を基盤として、幅広い教養と高い倫理観、使命感および建学の精神を身につけるために、教養教育科目群・純真学科目群に関する科目を配置する。
- 連携・協働の理解に基づいたチーム医療を理解し実践するために、4 学科合同横断型カリキュラムとしてのチーム医療科目群(IPE: Interprofessional Education)、ならびに「診療放射線技術学概論」および「臨床実習」を配置する。
- 医学、理工学および放射線科学の基礎を身につけるために、専門基礎科目群を配置する。
- 放射線技術学と医学放射線診断学の専門知識と技術を修得するために、専門科目群を配置する。
- 画像データや情報を有効に活用し、保健医療分野に貢献できる能力を身につけるために、情報処理および医療情報管理に関する科目を配置する。
- エビデンスに基づいた確かな判断能力と問題解決能力を磨くために、「医療文献講読」および「卒業研究」を配置する。
- 国際的な視野を形成するために、外国語科目群ならびに医療英語に関する科目を配置する。

<検査科学科>

- 人文・自然・社会に関する諸科学を基盤として、幅広い教養と高い倫理観、使命感および建学の精神を身につけるために、教養教育科目群・純真学科目群ならびに医療倫理に関する科目を配置する。
- 臨床検査学の知識をもとにチーム医療の一翼を担うことのできる能力を身につけるために、4 学科合同横断型カリキュラムとしてのチーム医療科目群(IPE: Interprofessional Education)、ならびに「検査学概論」および「臨地実習」を配置する。
- 臨床検査学の専門知識と技術を身につけるために、専門基礎科目群ならびに専門科目群および「臨地実習」を配置する。
- 検査情報を有効活用し、保健医療分野に貢献できる能力を身につけるために、情報科学および医療情報管理に関する科目を配置する。
- 臨床検査学の専門知識と技術を基盤に生命科学をはじめとした多様な分野で活躍できる能力を身につけるために、総合検査学科目群を配置する。
- 臨床検査学と食の知識を融合させて予防医学分野に貢献できる能力を身につけるために、食品分野に関する科目を配置する。
- 的確な根拠に立脚した課題探求能力と問題解決能力を身につけるために、「専門ゼミナール」および「卒業研究」を配置する。
- 国際的な視野を持ち、社会に貢献できる能力を身につけるために、外国語科目群ならびに国際保健および医療英語に関する科目を配置する。

<医療工学科>

- 人文・自然・社会に関する諸科学を基盤として、幅広い教養と高い倫理観、使命感および建学の精神を身につけるために、教養教育科目群・純真学科目群ならびに医療倫理に関する科目を配置する。
- 臨床工学の知識をもとにチーム医療の一翼を担うことのできる能力を身につけるために、4 学科合同横断型カリキュラムとしてのチーム医療科目群(IPE: Interprofessional Education)、ならびに「医学概論」および「臨床実習」を配置する。
- 医学と工学の専門知識と技術を基盤に臨床工学分野における医科学領域で幅広く活躍するために、専門基礎科目群(基礎医学・医工学)を配置する。
- 将来の先端科学技術に適応するため最新の医療技術・研究についての知識・技術を習得するために、専門科目群(医用機器学・臨床工学)を配置する。

- 地域医療と相互に連携し地域医療に貢献できる医療人を育成するために、総合科目群を配置する。
- 国際化社会で活躍できる能力を養うために、外国語科目群ならびに医療英語および国際保健に関する科目を配置する。

入学者の受入れに関する方針

(公表方法：<https://www.junshin-u.ac.jp/about/disclosure/disclosure01.html>)

(概要)

1. 看護学科

【知識・技能】

- (1) 看護師国家資格・保健師国家資格取得に向け必要な基礎学力を有している人。
- (2) 自分の考えを体現できる知識と、発信することができる技術を有している人。

【思考・判断・表現】

- (1) 物事を多面的にとらえ深く考えることができ、わかりやすく説明できる人。
- (2) 相互理解につとめ、良好なコミュニケーションが取れる人。

【関心・意欲・態度】

- (1) 健康をとりまく社会の動向に関心をむけることができる人。
- (2) 課題に対し、前向きに努力をする人。
- (3) 人と医療に関心・興味があり協調性を保つことができる人。
- (4) 社会貢献の重要性を理解し実行できる人。

2. 放射線技術科学科

【知識・技能】

- (1) 診療放射線技師国家資格取得に向けて必要な基礎学力を有している人。
- (2) 自分の考えを体現できる知識と、発信することができる技術を有している人。

【思考・判断・表現】

- (1) 物事を多面的にとらえ深く考えることができ、わかりやすく説明できる人。
- (2) 相互理解につとめ、良好なコミュニケーションが取れる人。

【関心・意欲・態度】

- (1) 医用画像やがん治療に興味がある人。
- (2) 目的意識を持って課題を見つけ、問題を解決するための努力ができる人。
- (3) 協調性をもって人々と関わりが保てる人。
- (4) 社会貢献の重要性を理解し実行できる人。
- (5) 放射線技術を基盤に多様な分野で活躍したい人。

3. 検査科学科

【知識・技能】

- (1) 臨床検査技師国家資格取得に向けて必要な基礎学力を有している人。
- (2) 自分の考えを体現できる知識と、発信することができる技術を有している人。

【思考・判断・表現】

- (1) 物事を多面的にとらえ深く考えることができ、わかりやすく説明できる人。
- (2) 相互理解につとめ、他者の関わりを自分から持とうとする積極的思考を有する人。

【関心・意欲・態度】

- (1) 生命とバイオサイエンスに興味がある人。

<p>(2) 課題探求・問題解決に意欲を持つ人。</p> <p>(3) 協調性を持ち、独創性と柔軟な思考力を身につける意欲のある人。</p> <p>(4) 社会貢献の重要性を理解し実行できる人。</p> <p>(5) 検査技術を基盤に多様な分野で活躍したい人。</p> <p>4. 医療工学科</p> <p>【知識・技能】</p> <p>(1) 医療工学の勉学に必要な基礎学力を有している人。</p> <p>(2) 自分の考えを体現できる知識と、発信することができる技術を有している人。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>(1) 物事を多面的にとらえ深く考えることができ、わかりやすく説明できる人。</p> <p>(2) 相互理解につとめ、他者との関わりを自ら持とうとする人。</p> <p>【関心・意欲・態度】</p> <p>(1) 最新の医療機器や医療技術に関心がある人。</p> <p>(2) 課題探求・問題解決に意欲を持つ人。</p> <p>(3) 協調性がありかつ好奇心が旺盛で、創意工夫を好み常に向上心がある人。</p> <p>(4) 社会貢献の重要性を理解し実行できる人。</p> <p>(5) 医学と工学を基盤に多様な分野で活躍したい人。</p>
--

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法： https://www.junshin-u.ac.jp/about/disclosure/disclosure02.html

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	2人	—					2人
保健医療学部	—	30人	18人	13人	17人	4人	82人
	—	人	人	人	人	人	人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長			学長・副学長以外の教員				計
0人			78人				78人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法： https://www.junshin-u.ac.jp/about/disclosure/disclosure03.html					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
保健医療学部	295人	310人	105.1%	1,180人	1,249人	105.8%	0人	0人
	人	人	%	人	人	%	人	人
合計	295人	310人	105.1%	1,180人	1,249人	105.8%	0人	0人
(備考)								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
保健医療学部	234人 (100%)	4人 (1.7%)	217人 (92.7%)	13人 (5.6%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	234人 (100%)	4人 (1.7%)	217人 (92.7%)	13人 (5.6%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)

学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)

シラバス作成においては、12月ごろに次年度の科目責任者がおおよそ決定するため、シラバス作成マニュアルと共に科目責任者へシラバス作成の依頼を行っている。マニュアルは毎年教務委員会で見直しし、必要に応じ改訂を行っている。科目責任者が作成したシラバスは、教務委員会で確認し、内容に問題がないか確認している。

シラバスはWebでの公表を行っているため、各責任者に随時確認しながら、4月には学生・一般の方に対し、公表している。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)

GPAは、卒業に必要な単位として算入することのできる授業科目について、A⁺、A = 4.0、A⁻ = 3.7、B⁺ = 3.3、B = 3.0、B⁻ = 2.7、C⁺ = 2.3、C = 2.0、C⁻ = 1.7、D⁺ = 1.3、D = 1.0、F = 0 のグレードポイント (GP) を付与し、その科目の GP に各授業科目の単位数を乗じて、その総和を登録科目総単位数で割って算出している。

ただし、(1) 本学以外で修得した科目、(2) 入学前に修得した科目、(3) 履修登録期間中に、履修中止申請のあった科目については、GPA 算出の対象外としている。

GPA を適切に運用するため、教務システムに上記の計算方法を登録し各学生の各学年、半期毎の GPA および累計 GPA を算出している。

卒業の認定に関する方針として「純真学園大学 ディプロマポリシー」を定め、本学ホームページにて公表している。

卒業認定については、ディプロマポリシーを踏まえ本学で定めている卒業要件を満たすかについて 4 年次後期に行われる卒業判定会議で確認し、卒業を認めている。卒業要件は学生に対し、学生便覧にて予め明示している。

学部名	学科名	卒業に必要となる単位数	GPA 制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
保健医療学部	看護学科	124 単位	有・無	47 単位
	放射線技術科学科	124 単位	有・無	47 単位
	検査科学科	124 単位	有・無	47 単位
	医療工学科	124 単位	有・無	47 単位
GPA の活用状況 (任意記載事項)		公表方法 :		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法 : https://www.junshin-u.ac.jp/career/countermeasure.html		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法 : <https://www.junshin-u.ac.jp/about/disclosure/disclosure07.html>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

【令和2年度以降入学生】

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
保健医療学部	看護学科	900,000 円	200,000 円	550,000 円	施設設備維持費、実験実習費
	放射線技術科学科	900,000 円	200,000 円	550,000 円	
	検査科学科	900,000 円	200,000 円	450,000 円	
	医療工学科	900,000 円	200,000 円	450,000 円	

【令和元年度以前入学生】

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
保健医療学部	看護学科	900,000 円	200,000 円	500,000 円	施設設備維持費、実験実習費
	放射線技術科学科	900,000 円	200,000 円	500,000 円	
	検査科学科	850,000 円	200,000 円	450,000 円	
	医療工学科	850,000 円	200,000 円	450,000 円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 修学の支援として、早期に入学が決定する推薦入試・社会人入試合格者を対象に各学科で指定した科目を受講させる入学前準備養育を実施している。また、入学後には全1年生を対象に基礎学力試験を行い、成績下位者を対象としたリメディアル授業（国語・数学・物理・化学・生物）を実施している。 また、個々の学習支援のためスモールグループ担当教員（SG教員）を設け、履修指導・学習方法の相談対応などを担当している。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 進路支援セミナー「自己分析講座」において学生本人が喜びを感じるポイント、何に価値を見出すかについて考えさせる機会を設け、学内合同企業説明会を開催して医療機関以外の選択肢も提示することで、学生の価値観に合った進路が選択でき就職後のミスマッチを防ぐよう支援している。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 学生の心身の健康等に係る支援については、主に健康管理センター及び学生係が各学科教員と連携して対応している。 保健室は基本的に週5日開室しており、学生の負傷や急な発病時の応急処置に対応している。また、女子学生の在籍者数が多い本学の特性を考慮して、保健室は男子学生用と女子学生用の2部屋を設置し、学生のプライバシーに配慮している。 本学は病院・施設等での実習を行うことから、感染症予防対策が必須であり、定期健康診断の際には、該当の学生に必要な抗体検査を実施している。これらの結果が基準値に達しない学生に対してはワクチン接種を行うよう各学科が指導している。加えて、新入生については結核感染診断（T-SPOT）も併せて実施している。 心的支援については、学生相談室を中心に、保健室、各学科、学生係が連携をとり対応を行っている。 学生相談室は週3回開室し、本学が委嘱しているカウンセラーによるカウンセリングを受けることが可能である。 また、オリエンテーション時に「精神的健康度調査」（UPI University Personality Inventory）を導入し、学生の心の健康度・疲労度の把握に努めている。回答内容の分析や面談は学生相談室が行い、心的支援が必要と考えられる学生については情報を所属学科等必要関係先へフィードバックすることにより、学科における学生の心的支援をサポートしている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：<https://www.junshin-u.ac.jp/about/disclosure/disclosure03.html>

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	F140310110892
学校名	純真学園大学
設置者名	学校法人純真学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		128人	129人	133人
内 訳	第Ⅰ区分	80人	82人	
	第Ⅱ区分	29人	29人	
	第Ⅲ区分	19人	18人	
家計急変による支援対象者（年間）				-
合計（年間）				133人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	—		
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下)	0人		
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人		
「警告」の区分に連続して該当	0人		
計	—		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡つて認定の効力を失った者の数

右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）		
年間	0人	前半期	後半期

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)	0人		
GPA等が下位4分の1	32人		
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	0人		
計	32人		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。